

地域のお店を活性化するにはどうすれば良いか

法政経1班

【要旨】

自分達の住んでいる地域にもシャッターが降りている店が多いことに気がつき、この状態を改善する方法はないかと考えた。私たちはより安い価格で商品を買える点や、店の宣伝になるという点からクーポンの発行が最も活性化に繋がり、さらに地域の過疎化の対策にもなるという仮説を立てた。アンケート調査の結果セールが1番多く、クーポンが2番目に多かった為値段を重視して買い物する人が多い事が分かった。

1 はじめに

「シャッター街」という言葉があるがこれは石巻の地域のお店でも見られる現象ではないだろうか。チェーン店での買い物が主流となっている中、昔から営業を続けている地域のお店を活性させるには何か方法があるのか気になったため研究の題材とした。

2 研究の目的

地域のお店の活性化によって地域の発展・活性化につなげるため

3 仮説

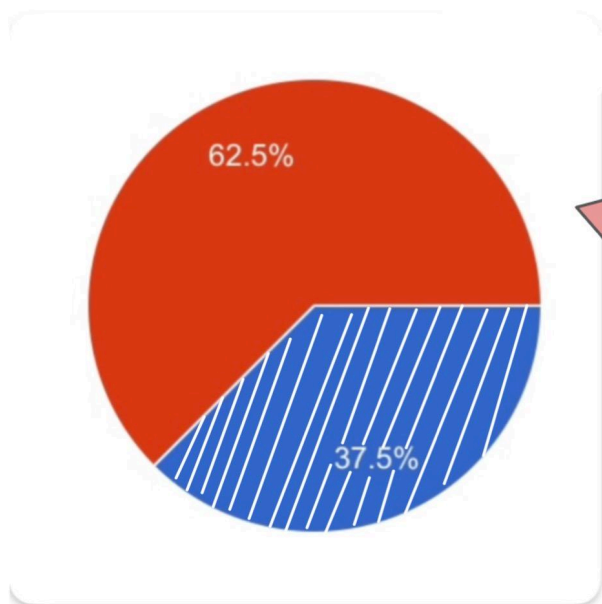
私たちはクーポンを利用してもらうことが最も活性化につながるという仮説を立てた。クーポンはその場で安くすることができるため、値段を重視して買い物する人にも利用してもらえるようになるのではないかと考えたからだ。それに加え、クーポンを配布することでお店の宣伝をする事も可能であるため、広告の代わりにもなるとも考えた。

4 研究方法

金銭面で共通する部分が多いと考え、同年代を対象にしたアンケートを実施したいと思い、好文館高校2年生を対象にアンケートを実施し、普段から地域のお店を利用している人の割合、クーポンの利用率、地域のお店の改善点を調査し、その結果からどうすれば地域のお店の利用者増加につなげられるかを考察する。

5 研究結果

○日頃の買い物をチェーン店以外（地域のお店）
でしますか。

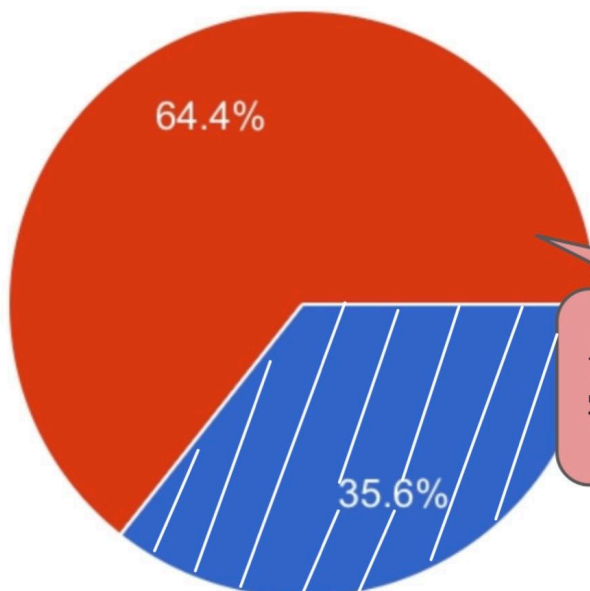


● いいえ
● はい

地域のお店を利用しない
人が6割を超えている

- 利用しない理由
 - ・近くにない
 - ・チェーン店だと取扱商品をネットで見る事が出来る
- 利用する理由
 - ・いつもは買えないものが売っていることがある
 - ・店の人に気軽に接しやすい

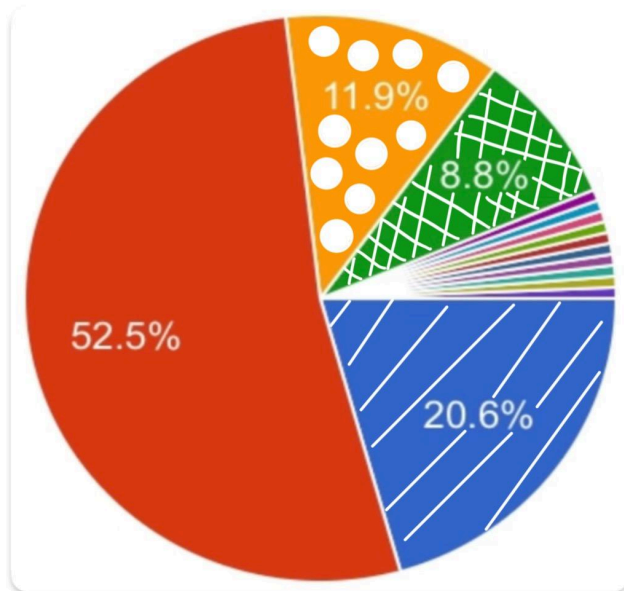
○日頃の買い物でクーポンをよく利用しますか



● いいえ
● はい

クーポンを利用しない人も6
割を超えている

○地域のお店に何があればよりそこで買い物したいと思いますか。



セールが1番多く、
クーポンは2番目に多い

- クーポン
- セール
- 取扱商品の見直し
- 広告(CM、チラシ等)
- そもそも店がない
- 安いもの
- 商品があれば買う
- 家からの距離

○セールを選んだ理由

- ・安くなる
- ・チェーン店より安かったら地域のお店を利用したい

○クーポンを選んだ理由

- ・安く買えるなら利用したいと思う
- ・地域のお店を利用するきっかけになるから

6 考察

おそらく住宅地に住んでいる人が多いと思うので、チェーン店しか近所がない人が多くなったのだと考えられる。また、クーポンを利用しない人が多く、セールだったら地域のお店を利用したい人が半数を超えていたのは、クーポンには自分で管理をする手間がかかって面倒だが、セールの場合はクーポンのように自分で管理する手間がかからないためだと考えられる。また、セールとクーポンのどちらにも「安くなる」というメリットがあるため、値段を重視して買い物する人が多いとも考えられる。

よって、クーポンの発行に加え、セールなどを定期的に行い、その都度宣伝をする事で幅広い世代の人に興味を持ってもらうようにすれば値段を重視している人からの購入だけでなく、広告を見た人にも足を運んでもらえるきっかけになると考えたので、定期的なセールの実施が最も地域のお店の活性化に繋がると私達は考えた。

7 おわりに

今回の研究から高校生の購買意欲が高まる傾向などを調査する事が出来た。クーポンやセールなど値段を重視して買い物をする場合には地域の店の利用が見込まれる。

しかし、実際にはどうなのか行動を起こす事が出来なかった為、考察が確実であるとは言えない。そのため、機会があったら地域のお店で客足が増えるには何が1番最適か実験など行ってみたいと思った。

セルフレジの導入は利便性につながるのか

法政経2班

【要旨】

このテーマの研究動機は見かける機会が増えたセルフレジが利用者にどのような影響をもたらすのかに興味を持ったからだ。この研究の結果、セルフレジは「レジ待ちの時間を減らせる」、「店の回転率が上がり店員の負担が減る」などのメリットがあることが分かった。また、好文館の同級生を対象としたアンケートでは「セルフレジが便利と感じる」と答えた割合が圧倒的に多かったのでセルフレジは店側利用者側の両方に利点があると分かった。

1 はじめに

最近、多くの店でセルフレジを見かけるようになり、そのセルフレジが店や客にどのような影響をもたらすのかに興味を持ったので、「セルフレジの導入は利便性につながるのか」というテーマを立てた。

2 研究の目的

セルフレジの利便性を知る

3 仮説

セルフレジの導入で利便性が上がる

4 研究方法

- ①インターネットでセルフレジのメリット・デメリットを調べる。
 - ②セルフレジ・有人レジが主流の店(ヨークベニマル大街道店様)、セミセルフレジ*主流の店(あいのや大街道店様)に行き、それぞれのレジのメリット・デメリットを店員に聞く。
 - ③同級生を対象にセルフレジに関するアンケートをとる。
- *商品のスキャンは店員が行い、代金の支払いは機械で行うもの。

5 研究結果

① メリット:レジ待ちの時間を減らせる、回転率が上がる、接触が少なくなり、感染症対策になる、スタッフの負担が減る

デメリット:操作に時間がかかる、導入にコストがかかる(100万～300万)、サポートスタッフが必要になる

②セルフレジ

メリット:レジ混み軽減で客のストレスをなくせる

デメリット:全て1人で行うため、年配の人に負担がかかる

有人レジ

メリット:店員が全て行うため、客への負担がない

デメリット:レジの数が少ないと客の待ち時間が増えてストレスになる

セミセルフレジ

メリット:待ち時間を削減できる 誰でも利用しやすい

デメリット:機器の利用に慣れてないとかえって時間がかかる

③回答者の約95%が「セルフレジは便利」と回答、理由として「会計がスムーズ」や「気軽に使える」などが挙げられた。また、「セルフレジは不便」と回答した人の理由は「エラーが起こりやすい」、「操作が難しい」といったものだった。

その次の「今後はどの種類のレジを使いたいか」

という質問では「セルフレジ」の割合が約56%、理由として

「セミセルフレジ」の割合が約27%、「有人レジ」の割合が約17%となった。

6 考察

今回の調査からセルフレジの導入によって利用者の利便性が上がり、レジ混み軽減により店員の負担を減らせることができるため、店側と利用者両方の利点につながることが分かった。

また、今後セルフレジの改良でより簡単に操作できるようになったりと、デメリットが解消されることでセルフレジの利便性がさらに上がると思う。

7 おわりに

今回の調査を通して、普段使っている有人レジ、セルフレジ、セミセルフレジのメリット・デメリットについて知ることができ、セルフレジ導入によって、店と客両方の利便性に繋がることが分かった。今後はセルフレジの数が増えたり、デメリットが解消されていくことでさらに利便性が上がると思う。また、セルフレジの歴史を知り、過去のセルフレジの進化を知ることによって今後どのように進化していくのかを考察できると思う。

今回はアンケートの対象を同級生のみにしたが、より幅の広い年齢層にアンケートをとることで研究結果をより正確なものにできると感じた。

【参考文献】

<https://www.jovpalette.co.jp/characle/column>

あいのや大街道店様

ヨークベニマル大街道店様

テーマ「ファミレスでのロボットの導入は、高校生の顧客満足度の増加に繋がるのか」

法政経4班

【要旨】

ニュース番組で調理ロボットが働いている姿を見て興味を持ち、ロボットの導入が顧客満足度の増加に繋がるのか気になったためこのテーマにしました。人件費が削減できる分サービスの価格を下げることで顧客満足度は増加すると仮説を立てて好文生へのアンケートや論文により研究を進めました。最終的に100%顧客満足度が上がるとは言えないが増加に繋がるような要素は多くなると結論付けました。

1 はじめに

このテーマにしたのはニュース番組で調理ロボットが働いているのを見て興味を持ち、調理ロボットに限らず様々なロボットによって顧客の満足度が上がるのか疑問に思ったから。

2 研究の目的

ロボットによって高校生の顧客満足度が上がるのかどうかを調べて、ロボットが与える仕事への影響を知る。

※顧客満足度はJCSIという顧客満足度指数により出される値

3 仮説

ロボットを導入することで人件費が削減でき、その分サービスの価格を下げることで満足度の増加につながる

4 研究方法

- ・好文館高校2年生に対してアンケート
- ・論文・インターネット

5 研究結果

メリット

- ・人が一度に運べない量の料理を運べる
- ・休みなく働くことができる

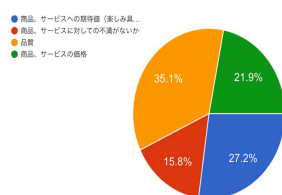
デメリット

- ・メンテナンスが必要
 - ・初期費用が高額になる
- 高いもの330万円低いもの100万円

※グラフ1の4項目はJCSIの6項目のうち票が多かったもの

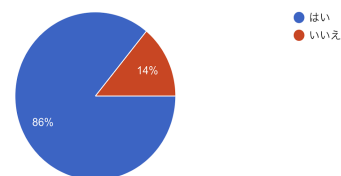
グラフ1

商品や購入やサービスの利用時1番大事だと思うものはどれですか
114件の回答



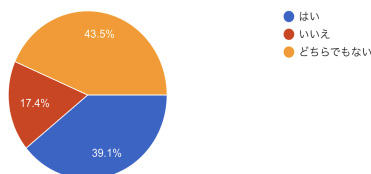
グラフ2

ロボットが働いているファミレスに行ったことがありますか
114件の回答



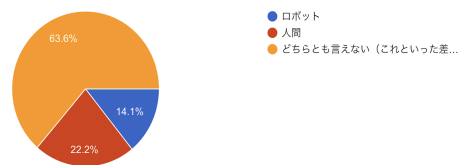
グラフ3

「いいえ」と答えた方へロボットが働いているファミレスに行ってみたいと思いますか
23件の回答



グラフ4

「はい」と答えた方へロボットと人間どちらの接客が良かったですか
99件の回答



6 考察

- ・グラフ1,3よりロボットの導入は顧客満足度の測定に関わる期待値が上がり顧客満足度は増加する
- ・ロボットより人の方が優れている点として愛嬌が重要となる接客が挙げられると思うがグラフ4よりロボットと人間の接客の質の良さには大した差はなく、論文よりロボットの導入により人件費が削減できるからその分商品、サービスの価格が下げれる、一人一人の労働時間が減ることで疲れによるヒューマンエラーを防止することができ全体的なサービスの質が上がる。グラフ1より品質が最も重視されていることから顧客満足度は増加する。

※論文より

- ・『同店の1日あたり平均労働時間は 292.2時間からシステム導入2か月経過後には 270.6時間に削減されており、労働時間は約7.4%(21.6時間)削減された』
- ・『同システム導入による人件費削減は年間 13,008千円と推定される』

7 おわりに

今回の研究を通して、ファミレスにおけるロボットの導入は高校生の満足度に繋がることが分かった。今後の展望としては、ファミレス以外の飲食店では顧客満足度への影響は変わったものになるのかやロボットの見た目による効果の違いはあるのかなどテーマを絞る過程で削られたものを調べ、より考えを深めていきたい。また、研究対象が高校生だけになってしまい幅広いデータを集めることができなかったのもっと年齢層を広げて調べていきたい。

【参考文献】

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jima/74/4/74_167/pdf/-char/ja

日高 義浩

「配膳ロボットに対する印象に関するテキストマイニングを用いた考察」

J-Stage 2024年

<https://toreta.in/contents/dx/serving-robot/#toc3>

TORERAより

石巻で浸透圧発電の実用化は可能なのか

石巻で浸透圧発電の実用化は可能なのか

法政経5班

【要旨】

石巻市の脱炭素化を推進するために、再生可能エネルギーの1つである「浸透圧発電」の実用化は可能なのかに興味を持った。そこで私は「優れた経済性と環境性を両立できれば実用化は可能」という仮説を立て、調査を行った。結果としては、環境性は非常に優れているが、経済性に難があり、現状では実用化が困難であることが明らかとなった。

1 はじめに

現在、日本はエネルギー問題を抱えている。日本はエネルギー自給率が低く、海外からの化石燃料の輸入に大きく依存しており、資源エネルギー庁の総合エネルギー統計によると、2022年度の日本の化石燃料依存度は83.5%と、非常に高いことがわかっている。また、発電のための化石燃料燃焼によって温室効果ガスが排出され、地球温暖化の原因にもなっている。そこで、水資源が豊富な石巻市に、再生可能エネルギーの1つである「浸透圧発電」を導入することで、日本のエネルギー自給率向上・脱炭素化に貢献できるのではないかと考えた。

2 研究の目的

浸透圧発電について深く理解し、石巻市の技術面・環境面を踏まえて、浸透圧が石巻市で実用化できるかどうかを考察する。

3 仮説

優れた経済性と環境性を両立させ、石巻市の持続可能な発展に貢献できるような発電コストや立地条件であれば、実用化は可能である。

4 研究方法

- ①浸透圧発電の仕組みを調べて理解する。
- ②実際の大学教授へのインタビューや浸透圧発電の実験についてまとめた記事・動画から、浸透圧発電の技術性・環境性を分析する。

5 研究結果

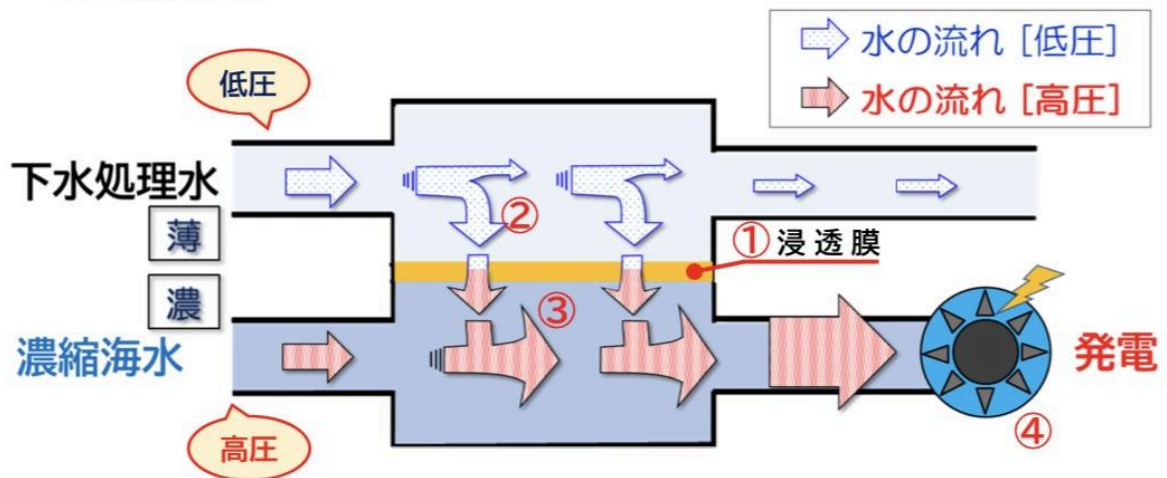
浸透圧発電は、海水と淡水の濃度差を利用する画期的な技術だが、経済性でのいくつかの課題が浮上した。

石巻で浸透圧発電の実用化は可能なのか

<発電システムの概略>

前準備：移動する水により高いエネルギーを与えて発電効率を高めるために「濃縮海水は高圧力」「下水処理水は低圧力」にする。

- ① 濃縮海水と下水処理水を「浸透膜」で隔てると「浸透圧」が発生
- ② 塩分濃度の薄い「下水処理水」から濃い「濃縮海水側」へ「水が移動」
- ③ 水が移動した先の「濃縮海水側では高圧力」がかかっていることで、移動した水の「運動エネルギーが一気に上昇」する。
- ④ 元々の濃縮海水に「移動してエネルギーを獲得した水」が加わり、勢いよく水車を回して発電する。



<浸透圧発電の強み>

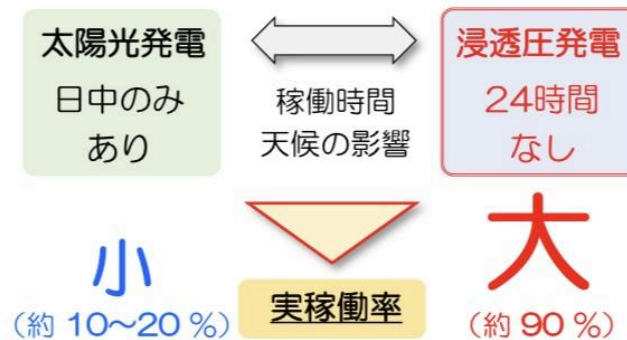


図1 日本初!「浸透圧発電」の実用化へ～捨てるもの(排水)から生み出す新たな価値～より引用

第一に、浸透圧発電は、現時点では通常の海水で多くのエネルギーを得ることは困難だということが判明した。ノルウェーなどで行われた通常の海水による発電の実験では、実用的な発電量は得られなかったと報告されている。安定して大量の濃縮海水を提供できる施設は海水淡水化プラントほどしかないが、石巻市には海水淡水化プラントはないため、大量の濃縮海水を得ることは厳しい。

石巻で浸透圧発電の実用化は可能なのか

第二に、立地条件やコストの欠点が判明した。浸透圧発電は理論上は河口付近で可能だが、前述の理由で立地の自由度は極端に低くなっている。

発電コストは約14円/KWhであり、再生可能エネルギーの中でも比較的lowコストな産業用太陽光発電(発電コスト8.2～11.8円/KWh)と比較すると、やや高額である。

また、日本初となる浸透圧発電の実用化に取り組んでいる福岡市の発電プラントは、建設費7億円、初期投資が非常に高額である。

第三に、発電に使用する「浸透膜」は、汚れによって目詰まりを起こし、性能が低下することが明らかとなった。オランダのレッドスタック社の実験では、運転開始後3日間で発電出力が低下していることが判明しているため、浸透膜の耐久性は大きな課題となる。

一方で、浸透圧発電の環境性は、海水から真水を取り出した後に残り環境に悪影響を及ぼす「濃縮海水」を有効活用することができ、発電時に二酸化炭素を発生しないだけでなく、時間帯や気候に左右されることもないので、実稼働率は約91%と高く、非常に優れた特徴を持っていることが判明した。

6 考察

上記の結果から、浸透圧発電は環境面では非常に魅力的な発電方法である一方で、経済性や技術的課題が多く、現状では石巻市での実用化は困難であることが明らかとなった。しかし、近年では、通常の海水と淡水を用いた発電の研究や、新しい浸透膜の開発が進められており、将来的な実用化の可能性は十分にあると考えられる。

石巻市で浸透圧発電の実用化ができれば、地域活性化や温室効果ガス削減に大きく貢献できるのではないだろうか。

7 おわりに

今回の研究で、浸透圧発電は、経済面の課題を克服すれば、持続可能な社会の実現に大きく貢献できる可能性のある、非常に魅力的な発電方法だということが理解できた。今後は浸透圧発電の実験に挑戦し、理解をさらに深めたいと考えている。

浸透圧発電の将来の発展に期待したい。

【参考文献】

(ウェブサイト)

- (1) 2023ー日本が抱えているエネルギー問題(前編)

参照日: 2024年7月3日

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/energyissue2023_1.html

- (2) Vol.72 海水淡水化施設の挑戦「浸透圧発電」海水から電気をつくる技術とは

参照日: 2025年1月10日

https://ene-fro.com/article/ef334_a1/

- (3) 海水と排水を活用し電気を作る！日本初「浸透圧発電」その仕組みと可能性 - リケラボ

参照日: 2025年1月10日

<https://www.rikelab.jp/post/7042.html>

- (4) 【100kW】濃縮海水と淡水による『浸透圧発電』を福岡市が発表！

参照日: 2025年1月10日

石巻で浸透圧発電の実用化は可能なのか

<https://youtu.be/tokscF-jPwE?si=yqs90JhxRI-7EEg>

(5) 日本初! 「浸透圧発電」の実用化へ～捨てるもの(排水)から生み出す新たな価値～
参照日: 2025年1月10日

<https://www.f-suiki.or.jp/wp-content/uploads/2023/10/5683f686954e8bd95ac993ef013f1ccb.pdf>

奈良県は鹿と共存しているといえるのか

法政経6班

【要旨】

動物と共存していく環境づくりをすることで、人間も動物も暮らしやすい世の中になると考え、このテーマを設定した。鹿による食害などがある現時点の状況は共存とはいえないとし、鹿の増加によって被害が増えていると仮説を立て、調査を行った。結果として、やはり鹿の増加が原因で被害が拡大しているため、共存していないと結論づけた。

1 はじめに

動物と共存していく環境づくりをすることで、人間も動物も暮らしやすい世の中になると考える。そこで、動物と最も距離が近い地域を模索したとき、鹿と人が触れ合っている奈良県が適していると考えた。

動物と距離が近いことで起こる獣害被害を調べ、その状況から該当する地域の改善点を追求する。なお、ここでの獣害被害は鹿の獣害被害とし、私たちの研究における共存の定義は、「二つ以上のものが同時に生存・存在すること」。つまり、鹿は自然の中で暮らし、人間は住んでいる地域で安心して暮らすこととする。

2 研究の目的

奈良県は鹿と触れ合えることが観光のひとつである。一方で、鹿が人間の作物を荒らしたり、鹿が学校に侵入して食害を与えたりするという被害がある。

このような被害がある関係ならば共存とは言えないと考える。そのため、共存を志すためにできることを調べた情報をもとに思索することが目的である。

また、宮城県にその考えを置き換え、動物被害について考察していくこともひとつの目的である。

3 仮説

鹿による食害がある現時点の状況だと、共存とはいえないと考える。「鹿の繁殖力は非常に強く、栄養状態が良い場合は毎年一頭の子どもを産む。捕獲しないと、4～5年で個体数が2倍に増加する」とある。このことから、鹿の増加によって被害が増えていると考える。

4 研究方法

- ①インターネットで奈良県の鹿被害件数を調べる。
- ②本での情報収集をし、被害の根本的な理由をつかむ。
- ③アンケートを実施し、自分たちの仮説が他の人と一致している考えか確認する。
- ④これらの情報をもとに、宮城県の鹿被害はどうか、宮城県はどう対策していくべきか考える。

5 研究結果

奈良県の鹿は「神鹿」として天然記念物に指定されているため、許可なしに駆除できない。

奈良のシカの捕獲条件などを定めた地区区分

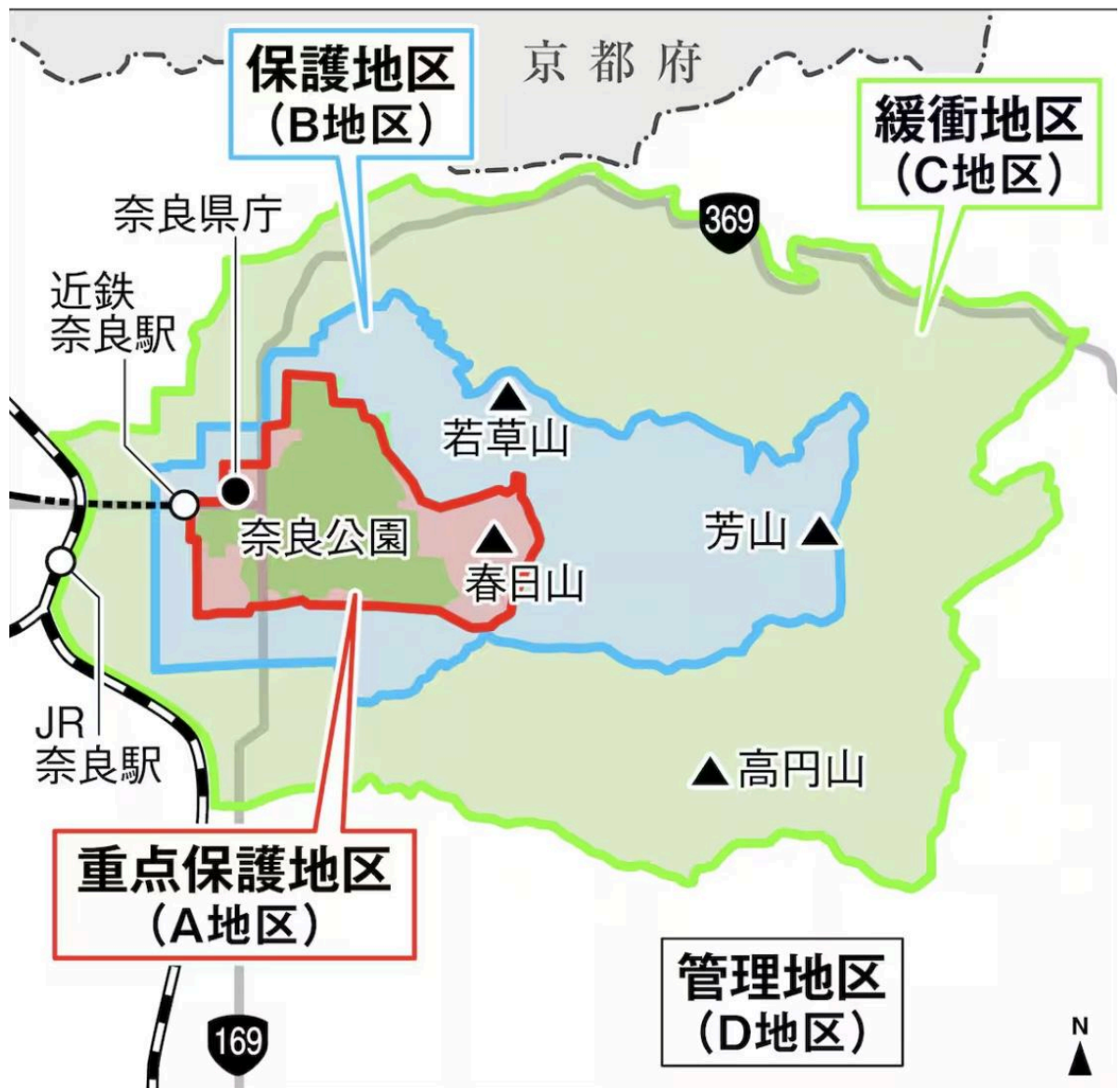


図1 奈良のシカの捕獲条件などを定めた地区区分

【産経新聞2023/10/29 17:20】より引用

図1のように、奈良県は重点保護地区、保護地区、緩衝地区、管理地区に分類されている。

緩衝地区内で害を与えた鹿は、人間に害を与えた鹿が入る、1度入ると出られない「特別柵」という柵に入る。また、管理地区では鹿の駆除が行なわれている。

現時点では、特別柵に鹿を入れても個体数が約270頭ほどで餌が行き渡らなく、衰弱死する個体が増加している。

これらの奈良県による行動の実施は鹿による農作物被害や人に直接攻撃などの被害被害件数が増加しているため、保護区域を制限し、住民の負担を減らすための取り組みと考えられる。

奈良県は、2018年度、1月末の時点で鹿による被害が200件ほどあった。ここまで被害が拡大しているのはやはり「鹿の増加」が原因だ。個体数が増加している理由は、奈良県では管理地区のみ駆除していること、鹿が太っていることの2つが主な原

因と予測することができる。

鹿の妊娠率

30kg 前後 → 確率低

35kg 前後 → 確率高

40kg 以上 → ほぼ全個体が妊娠

図2 鹿の妊娠率
【シカの問題を考える】より

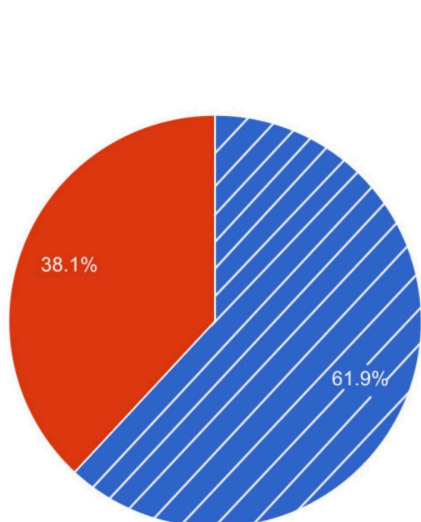
図2からわかるように、鹿は35kg前後で妊娠確率が高くなり、40kg以上になると、ほぼ全個体が妊娠できる。この情報から、保護地区の鹿は35kg以上の鹿が多い可能性があると考える。しかし、調べてみると『鹿が太る原因として観光客が与える「鹿せんべい」は鹿にとってただのおやつ程度であり、太る原因には程遠い』とある。ここから、鹿せんべいは太る原因には遠いことがわかった。このことより、鹿は農作物などを食べて栄養を蓄えさせていると予測できる。

また、人間の食べ物をあげることで味を覚え、農作物被害へ繋がるため、観光客の中に鹿せんべい以外の餌を与えている人がいることもひとつの原因である。

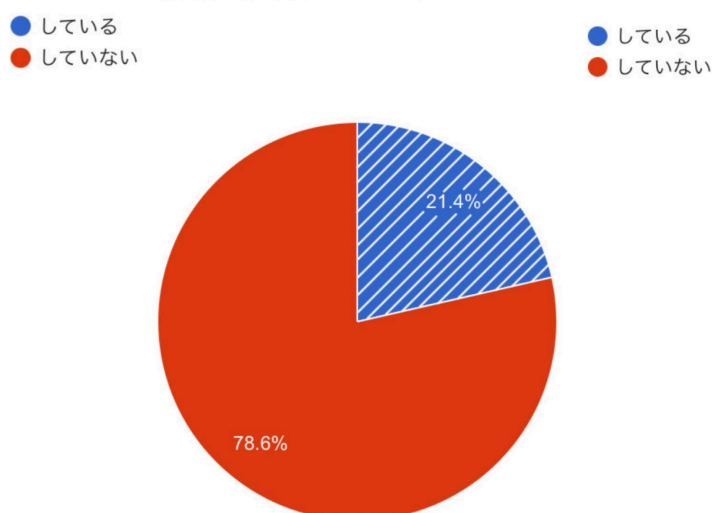
そして、この奈良県と鹿の共存についてのアンケートを実施した。
(石巻市内の高校生16～18歳42名対象)

表1 アンケート

奈良県は鹿と共存しているか①



奈良県は鹿と共存しているか②



アンケート内容として、

①奈良県は鹿と共存していると思うか。

②奈良県の被害件数は最大で年間200件である。このことを踏まえた上で奈良県は鹿と共存していると思うか
という内容で実施した。

①で「共存している」と答えた人も、被害件数を述べると②では「共存していない」と答える人が増加したことがわかる。

「共存していない」と答えた人は①から②で約40%増加しており、①、②ともに共存していないと答えた人、②で共存していないと答えた人は全体の約80%であった。

理由として、鹿が害を与えているニュースを見たことがある、などが挙げられた。

この結果より、私たちの奈良県は鹿と共存していないという考えは、他の人からしても一致する考えであると判断できる。

6 考察

表3 宮城県の鹿による被害面積と被害金額

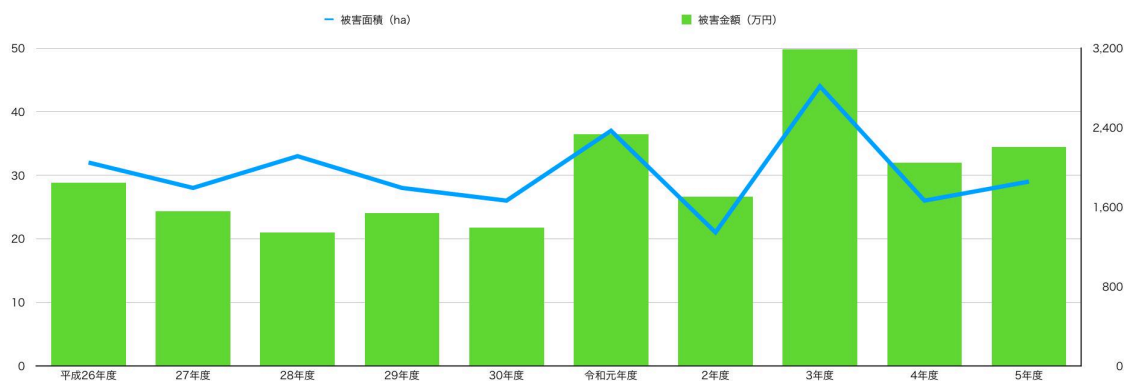


表3を見ると、宮城県でも最大で3200万円ほどの鹿による被害があることがわかる。

宮城県は、

①自然で育ち、植物を食べ尽して40kg以上まで太り、妊娠する

②子どもを産む

③増殖のため食料不足になる

④人間の食べ物を求める

という繋がりになると考える。

調べる段階の途中で、対策として奈良県のように柵を作ると良いのでは？という考えも出たが、餌が行き渡らなく逆に衰弱死してしまう個体が増えてしまう。

また、温暖化などの影響で積雪が減ったことも一因とされている。積雪が少ないとシカの行動範囲が広くなり、かつては冬を乗り越えられないシカもいたが、雪が少ないと広範囲を歩き回ってエサを求めることができるようになる。結果として餓死するシカが減ってシカの生存率が上がったのだ。

耕作放棄地が増えたのも原因である。放棄された農地には雑草や低木が生え、それを狙ってシカが来る。やって来たシカはやがて周辺の農地の作物も食べるようになり、被害面積が拡大する。

7 おわりに

この研究を踏まえると、奈良県と鹿はやはり共存していないと言える。考えた対策として、やはり駆除することが最も必要な対策である。駆除することに否定的になる人も多いが、駆除することは農作物の被害を未然に防ぎ、地域の生態系を守

るというメリットがある。そして、駆除された鹿は、全てではないが、宮城県では「丸信ワイルドミート 伊達の黄金鹿」、奈良県では「ならジビエ」という食用肉として売られる場合もある。

駆除することによって農作物被害を減らし、鹿も増殖による食料不足が減ること
で、私たちが定義していた共存へ向かえろと考える。

この研究から、否定的に考えていた駆除も共存への一歩へつながることを知ることができた。現時点で私たちが最適と考えた「駆除」も実施されている地域が多いが、被害が減少している地域は少ない。最適である駆除も、改善まではいかない可能性がある。

そして奈良県は紹介したこと以外にも、鹿の交通事故防止のための道路横断誘導柵の設置対策や、鹿がトイレに入ってトイレトペーパーを荒らすのを防ぐための鹿止め扉の設置などを実施している。宮城県も奈良県のような対策まではいかなくとも、宮城県に適する鹿対策があるかもしれない。この研究を通して、宮城県の駆除以外の解決策も追究していきたい。

【参考文献】

著者 高槻成紀 「シカ問題を考える」 出版社 山と溪谷社, 2015年

『農業の未来を実現する』

<https://www.kaku-ichi.co.jp/media/wildlife/deer>

「神の使いか害獣か 虐待疑惑『奈良のシカ』農作物被害も」『産経新聞』2023年 10月29日 17時20分

<https://www.sankei.com/article/20231029-SHPE56Y7E5OLFMCP6N5WZSYQAM/>

東北農政局「野生鳥獣による農作物被害状況」『農村振興』

<https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/tyozyu/higai/index.html> 参照日: 2024年11月27日

「奈良のシカでけが、最多 外国人観光客ら5年で4倍」『日本経済新聞』2019年2月19日 10時15分

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO41439840Z10C19A2ACX000>

なぜ石巻の観光客数は宮城県の他の地域より少ないのか ～復興まちづくりを目指して～

法政経8班

【要旨】

魅力があるのに石巻の観光客数が他の地域より少ないのはなぜかと疑問に思い、石巻の魅力が伝わっていない、立地面に原因があるからという2つの仮説を立てて調査をした。結果から自分達に出来ることは何かを深く考え、石巻を観光で活性化させることをはかり、実行をした。

1 はじめに

石巻の観光客が仙台や松島などより少ないと考え、1年次の探究なかで、「石巻の観光客を増やすには」というテーマで探究した結果、石巻には観光地が少ないから観光客が少ないと考えたが、実際には他の市に負けない魅力があることがわかった。

では観光客が少ない原因は結局何なのか、今回の探究で調べていきたいと思う。

2 研究の目的

石巻という名前は全国的に知られているが、東日本大地震で大きな被害を受けたというマイナスのイメージが強い。だから石巻はただ東日本大地震を受けた場所ではなく、それらを乗り越えて、魅力ある観光地というプラスなイメージにしたいと考えた。

3 仮説

- ① 石巻の魅力を知ってもらう機会が少ないから観光客が少ない。
- ② 立地、金銭的な面で問題があるから観光客が少ない。

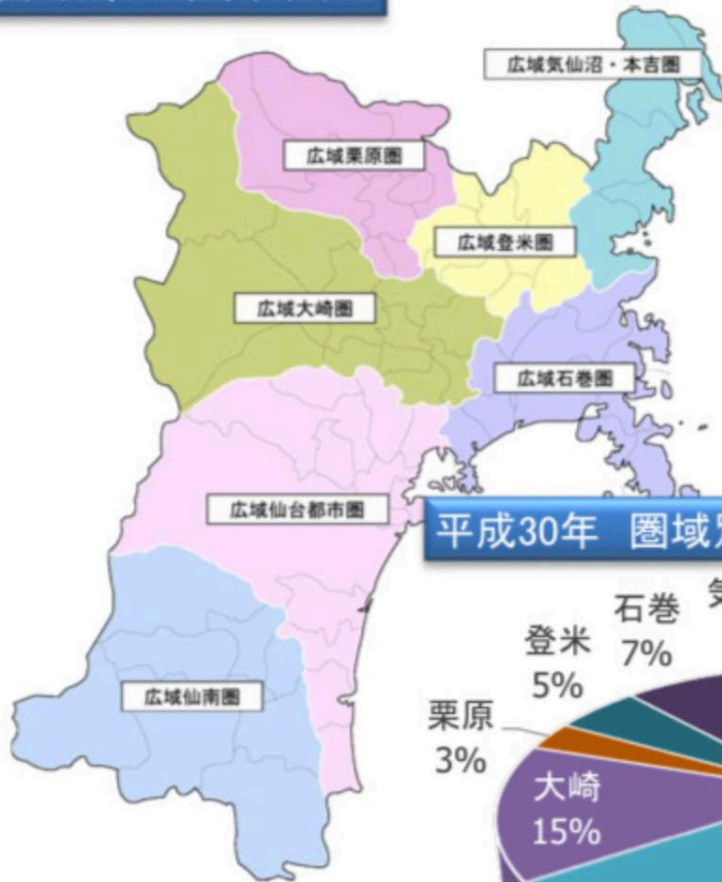
4 研究方法

地域を専門とする大学の先生に取材をする。
観光面で、石巻と同じような境遇や悩みを持つ他の市や地域を調査する。
石巻について論文や書籍を使って調査する。

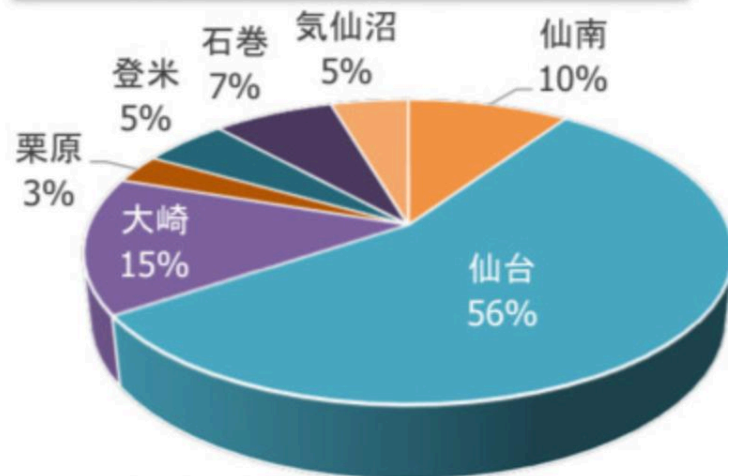
5 研究結果

表1 宮城県の圏域別観光客入込数

宮城県の圏域図



平成30年 圏域別観光客入込数内訳



出典：宮城県観光統計概要

表1からわかるように、県内を圏域ごとに見てみると、1位が松島を含む仙台圏2位が鳴子などがある大崎圏、3位が蔵王などがある仙南圏でその次に石巻圏
 →テーマでいう他の地域というのはこの上位3圏のこと
 この上位3圏と石巻の大きな違い→立地の良さ
 仙台から電車で1時間、本数も30分に1つ程度、駐車場のない観光地も
 上位3圏には東北新幹線の停車駅(白石蔵王、仙台、古川、くりこま高原)もあるから県外からも直接行きやすいのでそのあたりの観光客数が多い

他の地域では観光面において、どのような課題があるのか(石巻圏域の高校生を対象とするまきぼうに参加し、東松島観光物産公社で調査)
 奥松島の観光地、例えば大高森や野蒜海岸などの知らなかった魅力を紹介してもらった。→課題として参加するまでその素晴らしい魅力を知らなかった。

公社の方になんのためにあるのかを聞いてみると
 もちろん一番大事なのは東松島を好きになってもらうことだけど、この会社を含め、観光施設は市のお金でやるものなので来てもらってお金を消費してもらうことが目的だと話していた。

6 考察

研究の結果から、立地が悪く観光客が来やすい状況ではないのも事実だけど、本当に魅力がある観光地なら立地が悪くても人は来るはず。



若者を中心に石巻の魅力を伝えることが観光客を増やすために大切

自分たちにできること、すべきこととして

①いつでも観光客を迎え入れる町づくりをすること

例えばゴミ拾いだったり、観光客から質問されたときの対応ができるかなど

②若者の多くが使っている、TikTokやInstagramを活用したり、他の市と協力して石巻を宣伝すること。

表2 石巻を宣伝するポスター（両面）

[石巻ってどんな街？]

ー魅力と強みー

市内には故・石ノ森章太郎先生の作品を展示するマンガミュージアム『石ノ森萬画館』や「三年続けてお参りすれば一生お金に困ることはない」という言い伝えがある奥州三霊場『金華山』など見どころがいっぱいです。

“金華ブランド”を中心に旬の食材を使った定番メニュー『金華丼』、四季折々の新鮮なネタが楽しめる『金華寿司』、地元民もこよなく愛するB級グルメ“2度蒸しの茶色い麺”が特徴の『石巻焼きそば』など美味しいメニューも盛りだくさんです。

石巻の東の海は世界三大漁場の一つと呼ばれる「金華山沖」があり、豊富な海産資源があります。そして東洋一と呼ばれる巨大な石巻魚市場があり、日々新鮮な魚が水揚げされています。特に脂がのった「金華サバ」は全国的なブランド魚としても有名です。水揚げされた魚を加工する水産加工会社も多く、「笹かま」など全国レベルの製品を生み出しています。また養殖業も広く行われ、ワカメ、牡蠣、ホタテ、ホヤ、銀鮭、海苔などが特に有名です。漁師の担い手育成を中心に活動する「フィッシャーマンジャパン」の本拠地もあり、取り組みが全国的に注目を集めています。

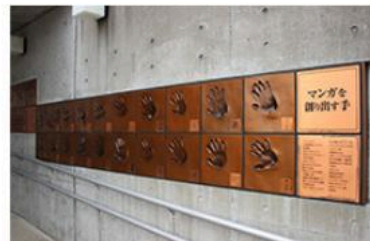
引用元:https://ishinomaki-iju.com/?page_id=799



[石巻焼きそば]



[はらこ飯]



[石ノ森萬画館内の掲示]



[石ノ森萬画館]



[金華山]



仙台	⇄	石巻	1時間
東京	⇄	石巻	3時間
仙台空港	⇄	石巻	1時間

おすすめ半日石巻観光コース！

12:00 石巻元気市場で石巻焼きそばを楽しむ！

13:00 石ノ森漫画館で石ノ森章太郎先生の漫画作品に触れる！！

15:00 日和山公園で石巻を一望する！

公園のすぐ近くにある「かざみどり」でシュークリームを食べる！！

16:30 南浜の東日本大震災メモリアル南浜つなぐ館で震災について知ってもらう

隣接するカフェのジェラートを食べる！

18:30 夕飯おすすめは3つ！

「友福丸」で海鮮丼を楽しむ！！

石巻酒場「団欒」で海鮮やお肉を食べながらお酒を楽しむ！！

「揚子江」の中華を楽しむ！！



表2のポスターは私達に出来ることを考えたときに、石巻を宣伝するために作成したポスターです。このポスターは1年次の探究で作成したのですが、貼るまでに至らなかったのもので、先程からあげていた、

東松島観光物産公社さんにボランティアをさせていただいた時に、この自分たちが作った石巻の魅力、おすすめの観光コースのポスターを貼らせていただきました。
しかし今回の課題として、ポスターは見られたのか、そのポスターを貼ったこと によってどのような効果があったのかを調べられなかったので、今後再チャレンジしたいです。

7 おわりに

今後の目標として、観光で石巻を活性化させたいです。
生まれ育った石巻への感謝を将来石巻で活躍、貢献して石巻の活性化を目指して、お返ししていきたいです。

【参考文献】

(1)<宮城県観光統計概要>

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/12827/toukei-r3.pdf> 参照日:4月30日

(2)<みやぎ復興の旅>

<https://www.pref.miyagi.jp/site/miyagifukkounotabi/> 参照日:4月30日

(3)<東松島観光物産公社>

<https://higashimatsushima-kanko.com> 参照日:4月30日

(4)<石巻市公式トップページ>

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/index.html> 参照日:4月30日

条例の多さと治安の良さに関係は見られるか

法政経11班

【要旨】

法治主義と徳治主義は現代の人々にとってどちらが適しているか。各県の条例の多さと治安の良さを相関係数をまとめることで研究した。結果はやや相関が見られたものの特に大きな結果はなかった。その地域や環境にあった条例を制定していくことがより良い地域をつくることにつながると考えた。

1 はじめに

『政を為すに徳を以てす』という言葉があるように孔子は道徳により国を治めると言った現代の法の支配とは全く別の主張をしている。私たちは法に支配されことで規範意識が働くのか、それとも人々の規範となる態度を統治者が示すことで人々は道徳を身につけることができるのどちらに当てはまるのだろうか。

2 研究の目的

条例の多さと治安の良さの関係を調べることでそれを私たちが住む地域に活かすことができるようになるほか、法治主義と徳治主義は現代の人々にとってどちらが適しているのかを知る。

※法治主義:国家における決定や判断をすべて法律に基づき行なうことを理想とする思想

※徳治主義:徳のある統治者がその持ち前の徳をもって人民を治めることで正しい秩序がもたらされると言う思想

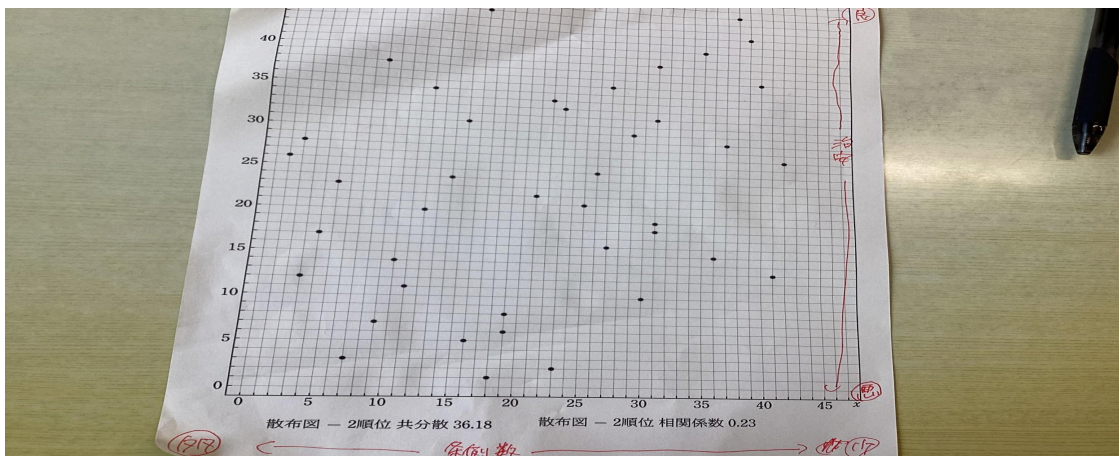
3 仮説

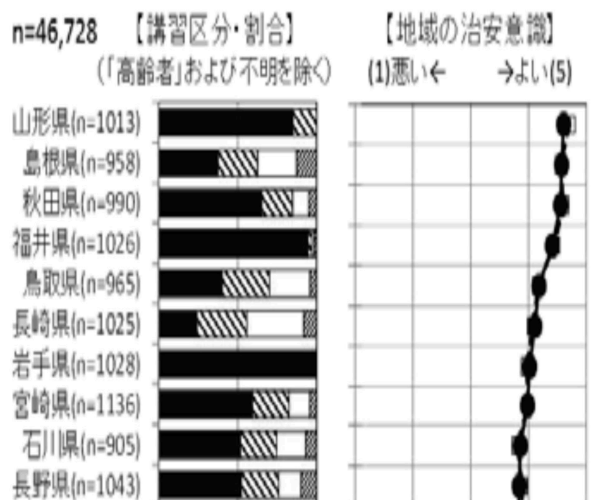
私たちの学校にある校則のように縛るものが多いほどできることが少なくなる。同様に条例が多いほど規範意識が働き、犯罪の減少に繋がり治安が良い状態になって行くという関係があると考える。

4 研究方法

- ・研究方法としては、県のホームページから条例数を数えランキングをつける
- ・犯罪遭遇率ランキングと比較をする。
- ・県の定める条例は多いので犯罪に関する条例だけを数える。
- ・犯罪遭遇率が少ないということを「治安が良い」の定義とする。

5 研究結果





都道府県	条例数	治安意識 (平均)
北海道	1	28
大阪府	18	47
岩手県	38	1

北海道:条例数1位→治安の良さ28位

大阪府:条例数18位→治安47位

岩手県:条例数38位→治安1位

上から大阪府のように条例が多くても治安が必ずしも良いと言うわけではなく、岩手県のように条例が少ないから必ずしも治安が悪いと言うわけではない。

6 考察

この結果とインターネットで調べた犯罪遭遇率を踏まえてそれぞれ順位をつけた上の図からそれぞれの標準偏差を求め、相関係数を出すと0.226となり正の相関があることがわかった。0に近いので大きな関係性はないが、どちらかといえば条例が少ない方が治安が良くなる傾向がある。また体感治安では条例が少ないが治安が良いと感じやすい傾向がある。このことから条例による支配よりかはある程度自由が、あったほうが治安が良くなり過ごしやすい地域を作ることができる考えた。しかし散布図にばらつきがあり関係性があるとは言えない上に体感治安も人の考えや感情によるものなのでこの研究で条例の多さと治安の良さに関係があるかどうかを判断するのは難しいかも知れない。そして、これらに関係性を見出すことが今後の課題になるだろう。

7 おわりに

地域の問題を知りその地域にあった条例を定めていくことが大切であり、条例に頼るのではなく私たちが責任を持って行動していくことが求められていると考えた。条例の種類によっての治安の変化をもっと深く調べ、私たちの住む石巻にはどのような条例が必要なのか考えたい。

【参考文献】

<https://www.alsok.co.jp/person/recommend/dangerous-ranking2023/>「全国治安」

https://www.nga.gr.jp/pref_info/ruletop.html「全国知事会」

宮城県の活性化には公共交通機関は必要か

法政経9班

【要旨】

今回はバスと鉄道を公共交通機関として定義し、「宮城県の活性化に公共交通機関は必要か」というテーマで地域と公共交通機関の関係性を調べた。「活性化と経済発展が見込める」という仮説のもと、校内でのアンケートの実施やインターネットを用いた研究を行った結果、「自治体と公共交通機関の推移は一体である」という結果が得られ、公共交通機関の利便性の向上で人口面・経済面で、自治体の衰退を防ぐことができるという考察に至った。

1 はじめに

日本の社会問題として「自治体の衰退」がしばしば挙げられる。日本の自治体は明治、昭和、平成の各大合併を中心に数を変えてきた。明治21年(市制施行以前)では71,314だった自治体数は、令和6年では1,718となっている。その中には、法律の変更により合併を行なった自治体が多くある一方、人口減少や財政難に苦しみ合併を行なわざるを得なかった自治体も数多くある。後者の自治体を見れば公共交通機関の衰退が大きい自治体も少なくはなく、関係性があると考えることができる。このことから自治体と公共交通機関の関係を調べることで、新たな地域活性化の糸口を見つけられるのではないかと考えた。

2 研究の目的

自治体と公共交通機関の関係性を調べ、地域活性化の新たな糸口を見つけることで、現状の打開策を見つけること。

3 仮説

「公共交通機関の利便性の向上によって、宮城県の活性化と経済発展が見込める。」

ラッシュ時の増便及び増結、人流を意識した運行体系などの利便性を向上させる策を取ることで、公共交通機関を利用しようとする流れが生み出され、人の流れが生み出される。人の流れがあるということは、経済の流れも生み出されるのではないかと、それが宮城県の活性化と経済発展につながるのではないかと考えた。

4 研究方法

- ・人口、公共交通機関の推移に関するデータや資料の検索
- ・データを基にした他の地域(都道府県,市町村)との比較
- ・校内での公共交通機関に関するアンケートの実施

5 研究結果

アンケートの結果から、以下のことがわかった。

[平日に利用する主な公共交通機関]

・徒歩または自転車 約48% ・鉄道 約43% ・その他 約9% ・バス 0%

[休日に利用する主な公共交通機関]

・その他 約59% ・鉄道 約20% ・バス 0%

[公共交通機関の課題(自由回答)]

・本数が少ない ・Suicaを利用できない ・駅が汚い、狭い など

平日に公共交通機関を利用する場合は鉄道の利用のみであり、バスの利用はアンケートでは確認できず、休日においても同様の結果であった。また、前述のアンケート結果以外に、通勤通学以外で公共交通機関を利用する目的についても質問しており、「遊びに行く」、「部活動関係」といった回答が目立った。

以上より、平日、休日ともにバスの利用者はほとんどなく、通勤通学以外で公共交通機関を利用する人は少ないということが分かった。また、利用者は現在の公共交通機関の状況に少なからず何らかの不満を抱いており、沿線自治体と公共交通機関の利用促進に向けて改善できる点が多いことも分かった。

6 考察

研究を行い『“自治体”と“公共交通機関”の推移は一体』という考察に至った。

特定地方交通線転換後の民営鉄道や第3セクター鉄道は、モータリゼーションや過疎化、少子化による需要の激減に伴う乗客減少及び収入減などにより、転換された7線がすでに廃止。また、バス転換された路線についても、転換に伴い増便したものの乗客減少や運転手不足による減便で、バス路線の維持自体が困難、廃止。といった事例が存在しており、沿線自治体を追従するように公共交通機関も衰退していく流れが存在している。また、公共交通機関が衰退し、それに自治体が追従する流れも存在している。

一方、北陸新幹線開業に伴い第3セクター鉄道となった あいの風とやま鉄道、IRいしかわ鉄道、ハピラインふくいの3社は、JR時代に比べ、昼夜を問わない増便や設備の改修によって利便性が向上し、現在も利用者が増加し続けている。

よって、公共交通機関、特に鉄道においては利便性の向上の効果は大きく、人口面及び経済面で自治体の衰退を防ぐことに繋がるのが期待できる。

左) 北海道ちほく高原鉄道は、転換前のダイヤと同じ日中1/3hと利便性が低く、利用者低迷により廃止

右) ハピラインふくいは、最大2/1hの増便や追加料金不要の速達種別導入で利便性が向上、利用者が増加



7 おわりに

第3セクター以外の公共交通機関においても、自治体と公共交通機関(JRなどの民営会社)が手を組むことで、前述の結果が得られると判断した。利便性向上以外の策でも地域活性化の糸口が掴めるかなど、引き続き様々な角度から調査、考察を行っていきたい。

【参考文献】

地域公共交通の活性化・再生への取り組みのあり方 報告書

<https://www.mlit.go.jp/common/000019577.pdf>

また、画像はWikipediaより引用

犬猫の殺処分をなくすための改善策とは？

法政経10班

【要旨】

犬猫の殺処分について調べることで、今後殺処分数を減少させる対策を導き出すことが出来ると考える。そこでインターネットで殺処分数の現状などを調べたり、宮城県動物愛護センターの方にインタビューをしたところ、現在の日本の殺処分の状況や、今後進めていくべきことが明らかになった。この結果から、譲渡会を発展させていくなど、今日も行っている活動に力を入れることが、殺処分数の減少に繋がる一番の近道だと考えられる。

1 はじめに

自分と同じ命を持つ犬猫(動物)が人間のせいで、幸せに暮らすことができなくなり、最終的には殺処分されてしまうという現状をテレビで知り、自分にできることは何かと考えたことがきっかけである。この問題を取り上げ、自分自身だけではなく、もっと全国の人や日本だけでなく世界中の人々に現状を知ってもらい、犬猫(動物)と向き合ってもらいたい。そのためこの研究を通し、殺処分数を減らす方法を見つけたい。

2 研究の目的

犬猫の殺処分数減少の対策を導き出し、改善策を考える。

3 仮説

現在も行われている譲渡会を発展させ、動物と関わる場を増やすことで、多くの人に命について考えてもらえ、殺処分数が減少する。

4 研究方法

- ①インターネットを用いて宮城県外や外国で行っている殺処分数を減らすための活動を調べる。
- ②宮城県動物愛護センターの方々に問い合わせインタビューをする。
- ③中高生55人を対象としたアンケートを行う。

5 研究結果

【そもそもなぜ殺処分が起こる？】

日本における殺処分の現状には大きく分けて2つのケースがある。

①譲渡することが適切ではないケース

- ・負傷や病気等による苦痛が著しく治療の継続が困難だと判断された場合
- ・収容中および譲渡後にほかの動物に危害を及ぼす恐れが高いと判断された場合
- ・動物衛生又は公衆衛生上問題となる感染症等にかかっている場合
- ・重篤な病気や著しい障害などがある場合
- ・闘犬として訓練されていた犬でほかの動物や人に危害を及ぼす可能性があると判断された場合

以上のように病気やケガ、衛生上の問題、攻撃性が高いなどが理由で譲渡することが「適切ではない」と判断され殺処分が行われる。

②それ以外のケース

- ・適切な譲渡先が見つからない場合
- ・施設の収容制限など、物理的制限により飼育が困難な場合
- ・大型などの理由により、適切な飼育管理ができない場合

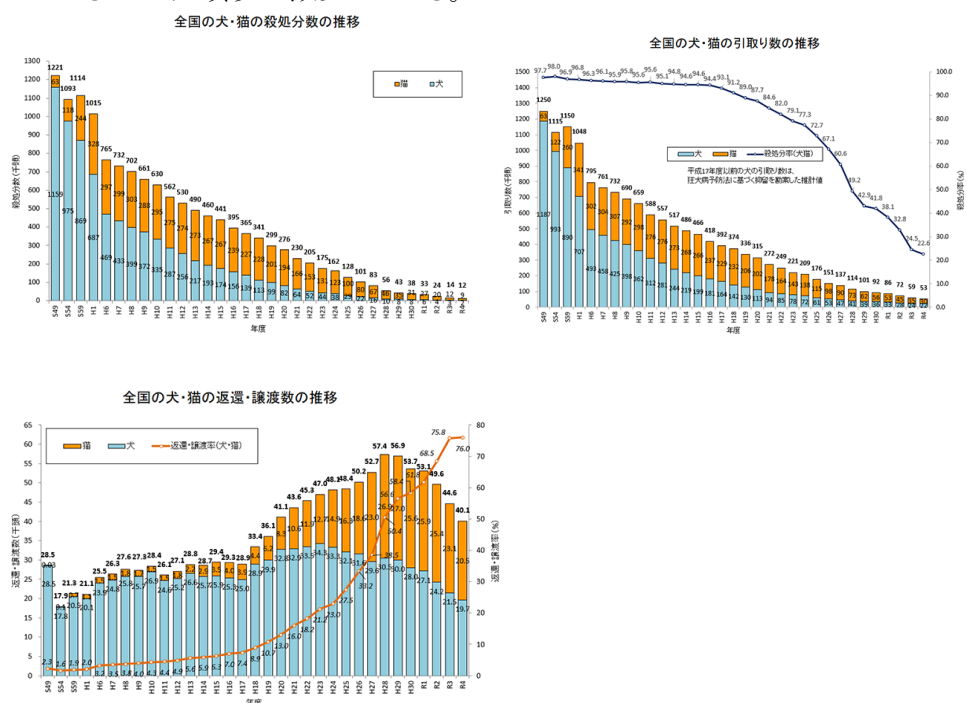
以上のように良い飼い主が見当たらない、施設で飼育ができないなどの理由により、殺処分されることもある。また、予算や人員などの制約により、1週間程度で殺処分を行う所もあれば、原則殺処分を行わない保健センターもあり、場所によって対応はさまざま。

【殺処分の行なわれ方とは？】

犬猫の殺処分は、注射による安楽死や炭酸ガスによる窒息死がある。殺処分の対象となる動物が多ければ、コストの観点からも炭酸ガスを利用せざるを得ない自治体が多くなり、動物保護センターに収容される動物の数自体減少すれば、殺処分方法も見直されるであろう。

【現在の殺処分の現状】

最新の情報として令和4年度の犬の引取り数は22,392件、そのうち返還・譲渡数は19,658件であり、殺処分件数は2,434件、猫は30,401件うち殺処分件数は9,472件と、犬よりも猫の方が引き取り数・殺処分件数が多い。しかし、1974年に比べると120万頭以上減少している。



この減少の背景として動物愛護センターやボランティアの『殺処分をゼロに』という、活動が大きく影響している。実際に2013年11月に本格的に環境省自然環境局にある動物愛護管理室で「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」が立ち上げられた。このプロジェクトは犬猫の殺処分がなくなることを目指すための具体的対策について検討を行い、命を大切に、優しさのあふれる、人間と動物の共生する社会の実現を目的としている。具体的な内容として、「動物愛護ふれあいフェスティバル」などで譲渡会を開いている。

【そもそも譲渡会とは】

動物愛護団体などで保護された動物を里親希望の家庭へ譲渡する会のこと。

【ペットショップと何が違う？】

ペットショップの場合は飼いたい動物を購入したらすぐ家に迎えることができるが、譲渡会の場合は、譲渡申請後に、書類審査、事前訪問調査、トライアル、譲渡後訪問 後査・しつけ教室等を行い、慎重に動物たちを引き渡している。譲渡費用は保護施設ごとに異なり、無料の場合もあれば、平均1～6万円かかる場合もある。それらのお金は、登録の届け出、不妊・去勢手術・健康診断・ワクチン

接種などのお金であり、動物自体の種類や年齢によって付けられた値段ではない。ここがペットショップと譲渡会の大きな違いだと思う。

【宮城県動物愛護センターの職員の方のインタビュー結果】

①殺処分の推移や殺処分に関わる職員の皆様の気持ち、動物の殺処分について職員の皆様が考えていることは？

『殺処分推移』

県内でも殺処分数の低下傾向の推移が示されている。犬猫の収容頭数の減少、飼い主への返還、譲渡の推進により、殺処分の割合が減少傾向にある。

『殺処分に関わる職員の皆様の気持ち』

殺処分はとても辛いものだが、収容する動物の性質上、現状では避けられないもの。

『殺処分について考えていること』

殺処分に当たり、注射麻酔薬等を用いるなど、可能な限り動物に苦痛を与えない方法を用いている。

②殺処分が起こってしまう理由とは？

環境省では、殺処分数を以下の3つに分類している。

分類1 譲渡することが適切ではない

(治療の見込みがない病気や攻撃性がある等)

分類2 分類1以外の処分

(譲渡先の確保や適切な飼養管理が困難)

分類3 引取り後の死亡

犬では分類1が多く、重篤な疾病や高い攻撃性が原因となる。また、猫では分類1及び分類3が多く、重篤な疾病や外傷、幼齢猫の収容後の死亡が多くを占めている。

③殺処分0を目指して、行っていること、またこれから行っていきたい活動や行うべきことは？

殺処分数を減少させるため、引取り数を削減する入り口対策と返還・譲渡率を向上させる出口対策の両面から取り組んでいる。入口対策として、安易な引取り依頼に繋げないための終生飼養や所有者不明猫に対する無責任な餌やり防止の普及啓発に取り組んでいる。また、出口対策として返還率の向上や積極的な譲渡の推進を行っている。

④現在の譲渡会の様子とは？

譲渡対象動物を随時ホームページ等で公開し、開庁日に希望者との面会を行っている。いくつか譲渡の条件を設けている。面会時の聞き取りや書類審査で適正に飼養ができると判断した場合に譲渡している。また、譲渡対象猫については1～2カ月に1回の頻度で休日の譲渡会を開催し、効果的な譲渡につなげている。

⑤これから殺処分は減っていくと思うか。

譲渡に適さない個体や引取り後に死亡する場合もあるので、殺処分数を0にすることは難しいと思うが、今後も様々な施策を推進することで、殺処分は減っていくものと考えている。

【他県・他国で行っている活動】

茨城県 → 「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」が作られている。

石川県(金沢市) → 譲渡制度、不妊去勢支援事業、ペットの適正飼養。

イギリス → 動物の飼育や販売に関する厳しい法律が定められている。

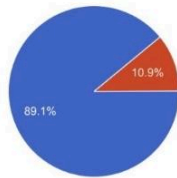
オーストラリア → 動物の権利を守る法律を定めている。

※イギリスやオーストラリアでは動物売買が禁止されているためペットショップはない！

【アンケート結果(中高生55人対象)】

①皆さんは犬猫が殺処分されていることを知っていましたか？

55 件の回答



知っている人と答えた人に質問

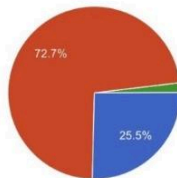
②何で知ったかを教えてください

48 件の回答



③現在一年での殺処分件数は犬が2434件、猫が9472件です。これを聞いてどう思いますか？

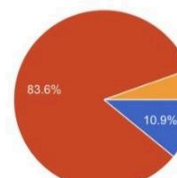
55 件の回答



● 可哀そう
● 減らしたい、救いたい
● 特に何も思わない
● その他

④譲渡会はお金を払わずに犬猫としっかり向き合う会のことです。これらの質問からあなたは犬猫をどこで買いたいと思いましたか？

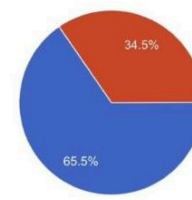
55 件の回答



● ペットショップ
● 譲渡会
● その他

⑤あなたは譲渡会（じょうとかい）を知っていますか？

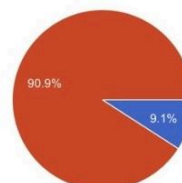
55 件の回答



● はい
● いいえ

⑦ペットショップは動物をお金で買う場所と踏まえて考えたとき、譲渡会とペットショップではどちらが飼い主と動物たちに良いと思いますか？

55 件の回答



● ペットショップ
● 譲渡会

アンケート結果は上の通りだ。

①の質問に対しては、約9割の人が知っていたが、⑤の質問結果は、はいと答えた人が約7割、いいえと答えた人が約3割で、殺処分を知っていても譲渡会について知っている人は2割ほど少ないことがわかった。この結果から、もっと譲渡会を広めていく必要があると思った。②からは、SNSの力が大きいと感じた。③の質問に対しては、減らしたい、救いたいと思っている人が約7割、可哀想だと思うが約2.5割、その他が0.5割だった。上には記載していないが④のなぜ殺処分が起きてしまうのかという質問に対しては、動物を大切にしていないから・多頭飼育が起きているから、など55人のほとんどの人が理由を理解しているようだった。⑥⑦からは譲渡会について知ったうえで犬猫をどこで買いたいのかという質問に対しては譲渡会と答えた人が約8割、ペットショップとその他がそれぞれ約1割だった。しかし動物をお金で売買していることに視点を置いた場合、ペットショップと譲渡会どちらが飼い主にも動物にもいいのかという質問では、先ほどは8割だった譲渡会が約9割になり犬猫に対する気持ちが変わった人が出てきたと推測した。

6 考察

国や県を通して外国を見習い動物に関する条例や制度を作ったり、譲渡会を現在より発展させ、もっと犬猫の命と向き合っていくことで殺処分ゼロに近づいていくと考えた。また、ペットショップで犬猫（動物）を販売するのを廃止し、ボランティア活動に力を入れ、国から支援金を出すなどサポートをしていくべき。

7 おわりに

今後殺処分数がもっと減少し、犬猫（動物）が幸せに暮らせる社会になっていけるように、ボランティア活動に積極的に参加したりと社会活動に関わっていききたい。皆さんにも犬猫を飼うときには真剣に考えてもらい、譲渡会を用いて、犬猫と出逢って欲しい。

【参考文献】

(1)環境省 犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/statistics/dog-cat.html

2024.9.11

(2)ピースワンコジャパン

日本の犬の殺処分の現状とは？殺処分ゼロを目指す対策など解説

<https://wanko.peace-winds.org/journal/10577>

2024.9.11

(3)環境省 人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/project/actionplan.html>

2024.11.20

(4)金沢市公式ホームページ

殺処分ゼロをめざして！

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/dobutsuaigokanricenter><https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/dobutsuaigokanricenter>

2025.1.8